

ブラジル金融政策(2018年2月)

～0.25%ポイントの利下げを行い、金融緩和サイクルの終了を示唆～

2018年2月8日

お伝えしたいポイント

- ・ ブラジル中央銀行は0.25%ポイントの利下げを行い、金融緩和サイクルの終了を示唆
- ・ 年金改革法案と大統領選挙の行方を引き続き注視

<ブラジル中央銀行は0.25%ポイントの利下げを行い、金融緩和サイクルの終了を示唆>

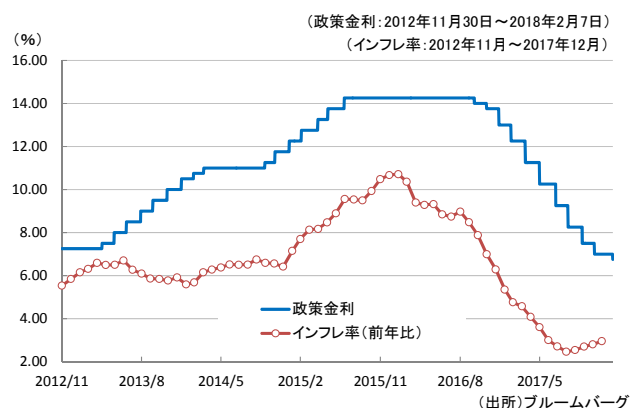
ブラジル中央銀行は2月7日(現地、以下同様)、政策金利を市場予想通り0.25%ポイント引き下げ、過去最低の6.75%とすることを決定しました。利下げ幅は前回の0.50%ポイントよりも小幅となりました。2016年10月以来の実施分を合わせると合計7.50%ポイントの利下げ幅となります。

中央銀行は声明文で、現在の経済環境が中央銀行の想定通りに推移しているため、政策金利を0.25%ポイント引き下げることが適切であると説明しています。インフレ率(前年比)は中央銀行のインフレ目標の範囲(3%～6%)の下限を下回って推移しており、これが利下げの背景にあると考えられます。

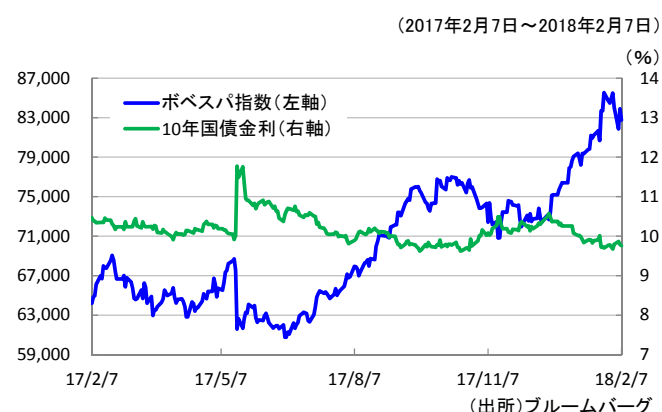
今後の金融政策運営について中央銀行は、状況が変化すれば追加緩和を行うとしながらも、金融緩和プロセスを中断するのが適切であると、利下げ打ち止めを示唆しました。

当社では、今後の景気回復のペースとインフレ率の上昇度合いを見極めるため、今回の0.25%ポイントの利下げをもって金融緩和サイクルは終了し、政策金利は当面据え置かれると見込んでいます。

《政策金利とインフレ率の推移》



《国債金利および株価指数の推移》



※後述の「当資料のお取り扱いにおけるご注意」をよくお読みください。

<年金改革法案と大統領選挙の行方を引き続き注視>

2月19日に下院での採決が予定されている年金改革法案ですが、現地報道によれば、テメル政権は年金改革法の成立に必要な票数をいまだ確保できていません。このため、2月に同法が成立するには、年金改革の内容を緩めるなどの妥協が必要になるとみられます。今年10月に予定されている大統領選挙後への先送りの可能性も含め、今後の展開には紆余曲折が予想されます。

大統領選挙については、有力候補であったルラ元大統領への有罪判決により、ルラ氏の出馬が困難な状況になりました。それによって、大統領選挙は混戦模様となっています。今後、大統領選挙が近づいていくにつれて、立候補者の顔ぶれやそれぞれのマニフェストが明らかになっていくと思われます。

引き続き、ブラジルの金融市場に影響を与えるテーマとして、年金改革法案と大統領選挙の行方を注視する必要がありますと考えています。年金改革に進展が見られ、大統領選挙でも構造改革に前向きな候補の当選が有力になっていけば、ブラジルの景気回復とあいまって金融市場を下支えするとみています。

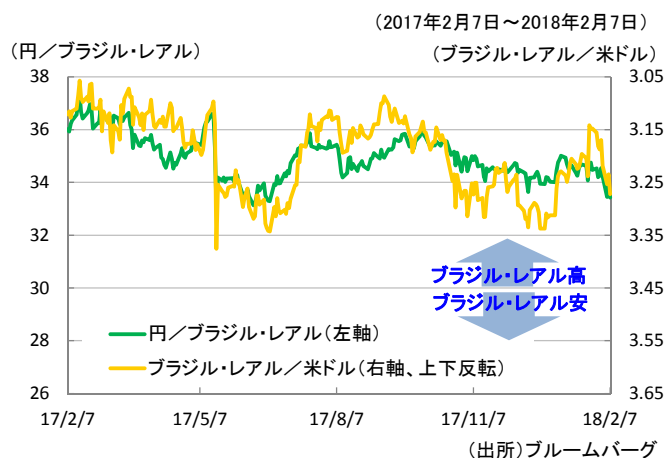
以上

《選挙日程》

7/20~8/5	各党が立候補者や連立を決定
8/15	立候補の申込締切り
10/7	第1回投票
10/28	第2回投票

(出所)各種資料より大和投資信託作成

《為替の推移》



※後述の「当資料のお取り扱いにおけるご注意」をよくお読みください。

<ご参考> 当社の関連リサーチ

◇マーケットレター

- ・ルラ元ブラジル大統領への有罪判決で年金改革への期待感が継続(2018/1/25)
http://www.daiwa-am.co.jp/market/html_ml/ML20180125_2.html
- ・ブラジルの格下げについて(2018年1月)(2018/1/12)
http://www.daiwa-am.co.jp/market/html_ml/ML20180112_1.html
- ・ブラジル出張報告②(経済・社会の「今」) ~経済、金融市場の安定を保つ上でも構造改革の進展は重要~(2018/1/5)
http://www.daiwa-am.co.jp/market/html_ml/ML20180105_1.html
- ・ブラジル出張報告①(政治の「今」) ~年金改革および大統領選挙の行方~(2017/12/26)
http://www.daiwa-am.co.jp/market/html_ml/ML20171226_1.html
- ・ブラジル金融政策(2017年12月)
~利下げ幅を縮小しながら金融緩和を継続。堅調な国内景気がレアルの下支え要因に~(2017/12/7)
http://www.daiwa-am.co.jp/market/html_ml/ML20171207_3.html
- ・ブラジル金融政策(2017年10月)~利下げを継続もペースは減速。緩和サイクルは終盤へ~(2017/10/26)
http://www.daiwa-am.co.jp/market/html_ml/ML20171026_1.html
- ・ブラジルのテメル大統領、検察から2度目の起訴~今後の注目点は財政・予算、大統領選挙へ~(2017/9/29)
http://www.daiwa-am.co.jp/market/html_ml/ML20170929_1.html
- ・ブラジル金融政策(2017年9月)~利下げ継続も今後はペースを鈍化。喫緊の課題への政府の取り組みに期待。~(2017/9/7)
http://www.daiwa-am.co.jp/market/html_ml/ML20170907_1.html
- ・ブラジル金融政策(2017年7月)~利下げを継続。ブラジルの景気回復と社会保障改革法案の動向に注目。~(2017/7/27)
http://www.daiwa-am.co.jp/market/html_ml/ML20170727_2.html
- ・ブラジルのテメル大統領の汚職疑惑(2017/6/28)
http://www.daiwa-am.co.jp/market/html_ml/ML20170628_1.html
- ・ブラジル大統領の汚職隠ぺい疑惑続報 ~その3~(2017/6/13)
http://www.daiwa-am.co.jp/market/html_ml/ML20170613_1.html
- ・ブラジルの政策金利引き下げについて(2017/6/1)
http://www.daiwa-am.co.jp/market/html_ml/ML20170606_1.html
- ・ブラジル大統領の汚職隠ぺい疑惑続報 ~その2~(2017/5/25)
http://www.daiwa-am.co.jp/market/html_ml/ML20170526_1.html
- ・ブラジル大統領の汚職隠ぺい疑惑の続報(2017/5/22)
http://www.daiwa-am.co.jp/market/html_ml/ML20170522_1.html

◇Weekly Report

- ・ブラジルの金融市場動向(毎週更新)
<http://www.daiwa-am.co.jp/market/weeklyreport.php?type=6>

当資料のお取り扱いにおけるご注意

■当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものであり、勧誘を目的としたものではありません。■当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。■当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は当資料作成時点のものであり、将来の成果を示唆・保証するものではなく、また今後予告なく変更されることがあります。■当資料中における運用実績等は、過去の実績および結果を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。■当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。

販売会社等についてのお問い合わせ⇒大和投資信託 フリーダイヤル 0120-106212(営業日の9:00~17:00) HP <http://www.daiwa-am.co.jp/>